

令和4年度（2022年度）公共事業（大規模等）事前評価調書

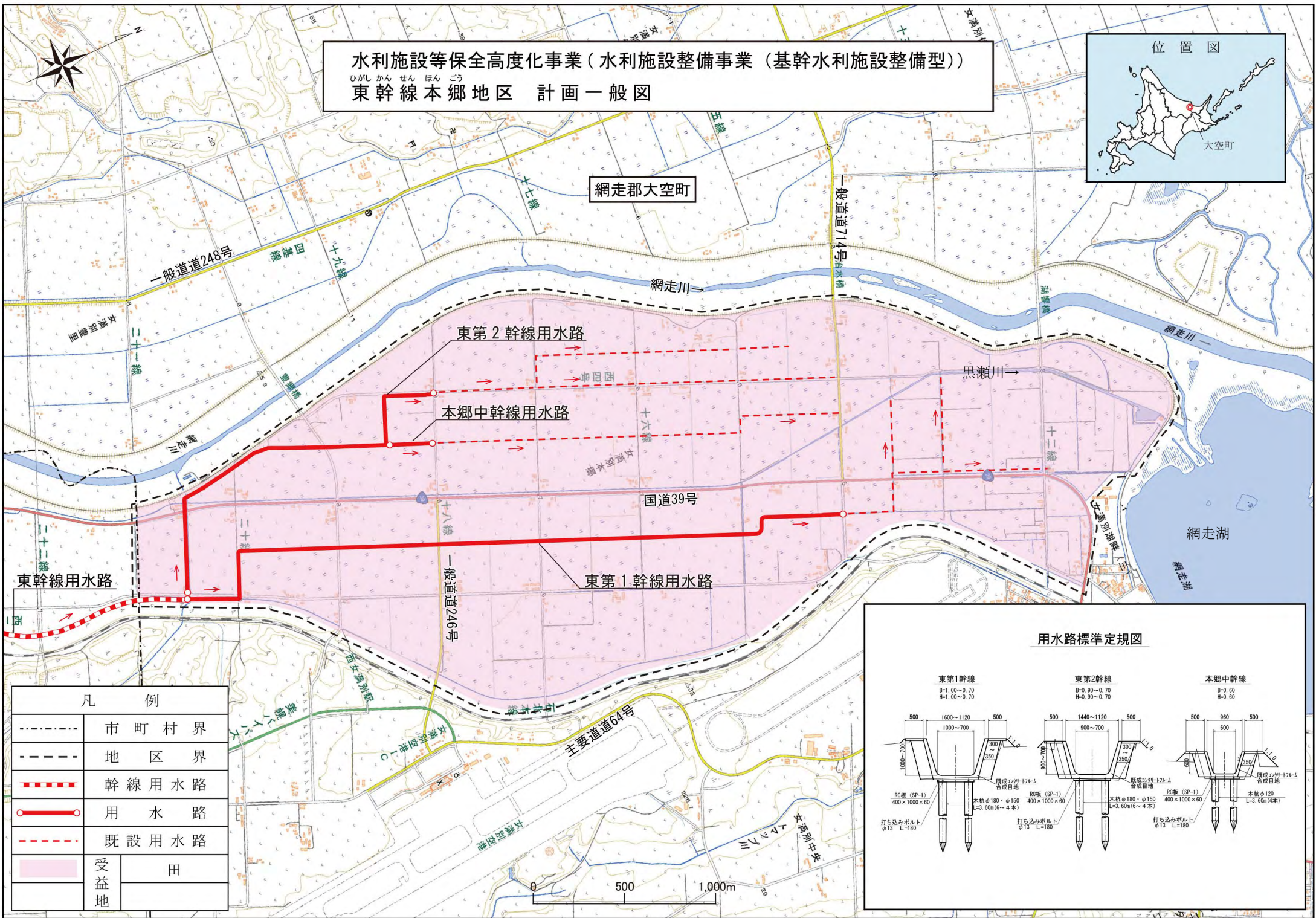
（様式3）

調書番号	06-21	基準年月日	令和5年3月1日
所管部	農政部	作成責任者	農政部農村振興局農村計画課長 鈴木 仁志
		担当係	畑地計画係（内）27-427

基本事項						
事業種別	道営土地改良事業（水利施設等保全高度化事業（基幹水利施設整備型））					
ふりがな 地区名	ひがしかんせんほんごう 東幹線本郷			市町村名	大空町	
事業期間	採択	R6 (2024)	完了	R12 (2030)	総事業費	1,400 百万円
負担割合	国	50.0%	道	31.0%	市町村	-
		700		434		-
事業目的・目標	水管理労力の軽減や適切かつ安定した用水供給を実現し、生産性の向上を図る。 良質米の安定生産及び転作作物の生産性向上を図る。 水管理の合理化により労働力の省力化を図る。 事業実施により安全・安心な食の生産をささえる。 【アウトカム】 等 本事業により必要な用水が将来的にも安定供給されることにより農業生産の向上が図られる。（水稲：12t増 畑作物：小麦：490t減、たまねぎ：4,378t増、ばれいしょ（加工）：559t増、小豆：現状維持、てんさい：現状維持、にんじん：現状維持）					
	本地区は大空町西部に位置し、水稲と転作作物である小麦、ばれいしょ、てんさい等を中心とした水稲畑作複合地域である。また、近年は豆类やたまねぎといった高収益作物の作付を行っている。 本事業において、安定した用水供給や深水かんがい等の水管理を適切に行うため、用水路の整備により良質米や畑作物の生産性向上を図ることで、競争力のある農業の実現に資する。					
工事費内訳	受益面積 609ha 受益戸数 58戸 用水路 L=6,201m 測量設計費 用地補償費					(百万円)
						1,220
					163	
					17	
					計	1,400
総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名	
		経済・産業	農林水産業の持続的な成長	潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり	農業農村整備の推進	
特定分野別計画での位置づけ	施策目標	【計画名：第6期北海道農業・農村振興推進計画 P23】 （農業水利施設等の保全管理） 農業水利施設等の適切な維持管理を推進するとともに、施設管理者が策定した個別施設計画に基づき、補修及び更新を段階的・継続的に行うなどの戦略的な保全管理を推進する。				
	関連する指標	食料自給率（カロリーベース） 令和12年度（2030年度） 目標値：268%				

評 価				
1. 必要性	<p>本地区は、水稻を中心に小麦・ばれいしょ・てんさいのほか豆類・たまねぎやにんじん等を取り入れた複合経営が展開される地域である。</p> <p>大空町には「広域集出荷選別施設オホーツクピーンズファクトリー」が建設され、オホーツク全域から豆類を集約し、厳しい品質管理のもと「オホーツクブランド」として全国に販売している。</p> <p>道の駅メルヘンの丘では、大空町産の小麦を使った「男のやきそば」、「男のやきうどん」といった独自商品を販売している他に公式ホームページにて農産物のオンライン販売を行っている。</p> <p>本地区は、昭和42年～62年（1967年～1987年）にかけて道営かんがい排水事業で整備されたが、用水路は老朽化し不等沈下や漏水により水管理労力が増加しているほか、用水の安定供給の支障となっている。</p> <p>用水の安定供給、維持管理負担の軽減を図り、深水かんがいにも対応させることで良質米や畑作物を安定して生産するためには、末端用水路の再整備が必要である。</p>			
2. 適切性	<p>実施にあたり関係機関との協議調整や専門的な知識が必要とされることから、北海道による実施は適切と判断する。</p> <p>事業実施要綱等に基づく道営事業の要件（受益面積がおおむね200ha以上かつ末端支配面積がおおむね100ha以上）を具備しており、北海道が実施主体となる。</p>			
3. 代替案の検討	<p>水管理の合理化を図るため、維持管理費の低減及び省力化や作業性・生産性の向上などに資する農業用排水施設整備については代替する対策などは見当たらない。</p> <p>用水路は設計条件や経済性を考慮して管種を選定している。</p>			
4. 緊急性・優先性	<p>整備後40年以上が経過した用水路は老朽化により漏水しており、安定供給のため用水路の整備が早急に求められている。</p> <p>新たな食料・農業・農村基本計画では、食料自給率の向上を目標に掲げ、講ずべき施策として農業生産基盤整備を示しており、食料の安定生産に寄与する本事業の優先性は高い。</p>			
5. 環境への影響・配慮	<p>本地区は、大空町が策定した「田園環境整備マスタープラン」において環境創造区域に位置付けられている。</p> <p>地区内に生息する動植物の生息環境を把握する地域調査等を行い、生態系や景観に配慮した環境保全対策について、オホーツク総合振興局が開催した環境情報協議会にて提案し、了解を得ている。</p>			
6. 妥当性	根拠法令等	土地改良法、北海道農業・農村振興条例		
	その他	北海道総合計画、第6期北海道農業・農村振興推進計画、大空町農業振興地域整備計画		
	<p>【地域の動向・意向】</p> <p>R3(2021) 網走川土地改良区からオホーツク総合振興局へ整備要望</p> <p>R3(2021)～ 受益者、大空町、網走川土地改良区等と協議調整、整備要望の取りまとめを行う</p> <p>R3(2021) 大空町農業農村整備事業管理計画に登載</p> <p>R3(2021) 網走川土地改良区から道営土地改良事業計画策定要望の申請</p> <p>【事業関係手続】</p> <p>R5(2023) 整備要望を反映した事業計画概要の作成（予定）</p>			
7. 事業効果	経済効果の内訳（百万円）		費用の内訳（百万円）	B/C
	作物生産効果	3,928	農業用排水施設	1,187
品質向上効果	938	関連施設	3,989	
営農経費節減効果	427			
維持管理費節減効果	242			
国産農産物安定供給効果	711			
合 計（B）	5,762	合 計（C）	5,176	
8. 事業特性による特記事項	<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアル」（農林水産省 H30改正）に基づき算出している。 経済効果の合計と費用の合計は、「工期+40年」の累計で算出しR5年度に現在価値化している。 費用の合計は現在価値化しているため事業費と異なる。 農業用排水施設と接続する上位用水施設等にかかる費用を「関連施設」として計上している。 維持管理費節減効果は、現施設の維持管理費に対して、再整備した場合の維持管理費の増減及び事業を実施せず現施設の機能がなくなった場合の維持管理費の増減の合計により、マイナスとなる。 			
	<p>【協議・調整状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 該当事項：用水路の町道横断、埋蔵文化財包蔵地に係る協議 実施状況：いずれの協議も終了しており、工法等について了解を得ている。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 負担割合の「その他」は、農業者の負担割合及び負担金である。 			
今後の対応方針				
対応方針	<p>農業施設の整備水準の維持に大きく寄与し、地域農業の維持に大きく貢献するとともに国民への食料の安定供給に資することから要望を行うことは妥当である。</p>			
	a	a：要望を行うことは妥当 b：要望に当たって検討を要する c：要望を行うことは妥当でない		

水利施設等保全高度化事業（水利施設整備事業（基幹水利施設整備型））
 ひがし かん せん ほん ごう
 東幹線本郷地区 計画一般図



凡 例	
-----	市町村界
- - - - -	地区界
- - - - -	幹線用水路
—○—	用水路
- - - - -	既設用水路
■	受益地
□	田

